



**UNITED NATIONS  
UNIVERSITY**

2005年3月24日  
MR/J04/05

メディア用原稿  
非公式記録

国際連合大学 広報部  
〒150-8925  
東京渋谷区神宮前5 53 70

Tel.: 03-3499-2811  
Fax: 03-3499-2828  
E-mail: [media@unu.edu](mailto:media@unu.edu)  
Website: <http://www.unu.edu/>

## 検討した24の生態系のうち15が継続的に悪化しているため、 「突然劇的な環境の悪化が到来する危険あり」と科学者が警告

2200万米ドルと4年を費し、95カ国の1,300人の専門家が参加した評価が警告：  
地球が人類の生命を護ってくれる能力は「もはや当然のものとしては与えられていない」

地球のライフ・サポート・システムの最も総合的な評価、ミレニアム生態系評価プロジェクトの総合報告書が、3月30日(水)に、東京、ロンドン、ワシントンDC、北京、ニューデリー、ブラジル、カイロ、ナイロビ及びローマで発表されます。

報道関係者の皆様には、東京での記者発表にご参加頂けますようお願い致します。

- 英語による記者発表をフォーリン・プレスセンター（日本プレスセンタービル6階）において午前10時より開催致します。
- 英語、日本語（同時通訳）による記者発表を国連大学本部エリザベス・ローズ・ホール（渋谷区神宮前5丁目53-70）において午後1:30より開催致します。

東京記者発表への参加者は下の通りです。

- ハンス・ファン・ヒンケル 国連事務次長・国連大学学長
- A.H.ザクリ ミレニアム生態系評価共同理事・国連大学高等研究所所長
- 西岡秀三 (独)国立環境研究所理事
- 渡辺正孝 (独)国立環境研究所水圏環境研究領域長(国連大学本部での記者発表のみ)

また、当日午後3時より5時まで、報告発表のためのワークショップを引き続き国連大学本部エリザベス・ローズ・ホールにて開催致しますので、こちらへのご参加・ご取材もお待ちしております。（日英同時通訳付）

さらに、ザクリ教授への事前インタビュー日を3月28日(月)-29日(火)に設けております。会場は国連大学高等研究所（横浜みなとみらい）となります。

記者会見・ワークショップ及びインタビューへのお問合せ・ご参加のご連絡は国連大学広報部・小林(TEL: 03-5467-1217, FAX: 03-3499-2828, e-mail: [media@unu.edu](mailto:media@unu.edu))あるいはテリ・コリンズ（3月26日以降携帯：080-1110-0415）までお願い致します。

ミレニアム生態系評価についての情報は<http://www.millenniumassessment.org/> でもご覧になれます。

MEDIA ADVISORY



国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として、本部（東京）を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ国連総会傘下の独立機関です。1975年に開設され、今年30周年を迎えました。